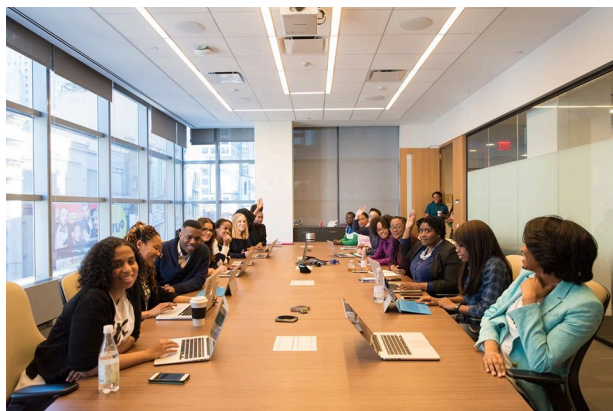
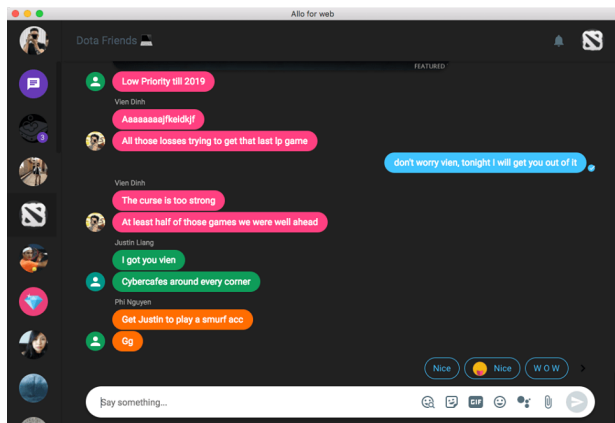




No.018 教育が変わる (3) 小学校の英語必修化に賛成か反対か



「喋る中身が大事。」「その時間は国語にあてるべき」「教員が対応できない。」・・・
有識者の間でも小学校での英語必修化については強い反対意見があります。

実務的な問題はあるかもしれないけど、私はシンプルに賛成です。

英語化は愚民化という意見もありますが、別に英語文化が進歩的だからではありません。異文化を理解し自分の考えを異文化の相手に伝える能力はしっかり身につけるべきだからです。必修化に伴う実務的困難は、克服すべき課題であって、やめる理由にはなりません。

経済面に限らずあらゆる分野で、自分の考えを英語で表現する能力の低さゆえに、日本の国力は大きく削がれていると感じます。日常でも日本人の多くは公衆の前で議論や発言をせず、何か言いたくても英語表現力が不十分で、もどかしい思いをしています。

しかし英語は使わなければ忘れるし、他に学ぶことの多い小学生には無理でしょうか。

子供達は語学の天才です。大人の心配をよそにイノベーティブな社会のコミュニケーション手段を自由自在に操る能力を持っています。

それを引き出せば日本文化のすばらしさを世界に発信してくれるでしょう。